

2009/6/9

「施設訪問本年度第2弾」

昨日は、午前中直前練習をし、午後は施設でのコンサートでした。

3台の車に分乗し、30分もしないうちに、施設に到着しました。初めて訪問の施設ですが、職員のみなさんの暖かい歓迎で、嬉しい気分。控え室では、冷たいお茶もふるまわれて恐縮、恐縮でした。ホールにシンセとかを設営する時には、すでにお客さんが待ってられました。広いホールです。

予定通り2時半に開演。30～40人くらいのお客さんで、デイケアに通ってられる方達も多くいらっしゃるようでした。司会の係りのメンバーが一言言うたびに、「は～いはい」「そうですか、そうですか」「よかったねえ～」「はい、わかりましたよ～」と、コメントしてくれる方もいて、笑いをさそわれるいい雰囲気が始まりました。

「こきりこ」の踊りは、メンバーの一人が担当してましたが、一人のお客さん飛び入りで踊り始めたのには驚きました～。それも、高齢とは思えない、かなりメリハリのきいた身のこなしなのです。いらっしゃるんですねー、踊りの大好きな方って！あとで伺ったところでは、もっと他にも「こきりこ」を踊れる方がいらしたそうです。前もって、プログラムをお知らせしておいたら、もっと一緒に踊る方達をつのることができたかも～と、思いました。

「人生いろいろ」は、アルトメンバーのダンスも堂に入ってきて、笑顔サービス🌸😊✨の余裕も！(^ ^)!

直前練習で振り付けがついたメンバーのフィニッシュポーズも...バッチリ決まった！の？(^ ^)ゞ

「川の流れのように」気持ちのこもった司会者のナレーションに、「人生いろいろ」の熱狂を急速に収め、会場はシンとした雰囲気。このメリハリすてき！...と、密かにほくそえむ私でした。...しかし...指揮者の顔がちよい曇ったぞ...あららら...と。そうだな～、歌詞を間違えないでおこう、ということばかりに気がいってしまったようで、この歌は、もっと練習が必要のようです。

「ふるさと」は私担当のオカリナ...直前練習ではリラックスだから失敗なしなのに、本番では「失敗しないようにしなきゃ！」という気持ちが強くなって、あーあまたやっちゃったよ🔴Aでした～。...絶対に私はオリンピックなんて出たくない！（だれも出てとは言わない）でも、お客さんたちが心配そうに歌って応援してくれるのに力を得て、あとはリラックス。ありがと～でした。それにしても、若い頃は失敗すると結構ひきずったのに、この年になると「そういうこともあるもんさ～」と、たいして気にならない...年令を重ねて得をすることもないとね。(^^)ゞ

そして「夏は来ぬ」が最後の曲。司会原稿に勝手に書いた「ここも、あおあおとした若葉でいっぱい」...でも、なかったらどうしよう、と思っていたのですが、ちょうど窓からは若葉いっぱいの木々が臨めて、「やった！」でした。それにしても、用意してあった卵の花の写真(夏は来ぬの歌の紹介で使う予定だった)は、なんと控え室の私のかばんの中で「あーあ、出番やのに、どーすんの！」でした...。すみません

教訓！ うちから出かける時だけでなく、
控え室から出る時にも、持ち物
一覧表を準備しておくべし。

終わってからも、控え室でお茶とお菓子のもてなしを受け、おみやげのお菓子までいただきました。今回のコンサートも、あったかいお客さんと施設の職員の方々のお陰で楽しくコンサートをさせて頂きました。クランツコンサート日誌にまたいい思い出が一ページ加わりました～(^^)♪

